

平成19年度老人保健事業報告書

地域に根ざした認知症および
介護予防教育の普及と予防的介入効果の
検証に関する研究

平成20年3月

社会福祉法人 東北福祉会
認知症介護研究・研修仙台センター

はじめに

認知症介護研究・研修仙台センターでは、平成19年度研究事業として「平成19年度老人保健等事業補助金」により、「地域に根ざした認知症および介護予防教育の普及と予防的介入効果の検証に関する研究事業」をすすめてきました。

本研究では、「地域」の定義を、空間的な範囲を示すことに加え、「地域社会」としてとらえ、その地域の持つ機能および住民の役割を見なおしたうえで、インフォーマルな活動の抽出を行い、それをフォーマルなサービスへ移管するためのツール開発を目指して検討してまいりました。

研究をすすめるにあたり、地域住民の持つ健康や認知症についての関心の高さに触れ、その想いや活動を既存の各種サービスに反映するための何らかのツールが求められていることがあらためて確認することができました。

今後はこうした今回抽出された潜在的なインフォーマルな地域活動について一定の共通性を検証した上で、サービス提供者側は地域社会で実際におこなわれている活動との関わりを意識しながらフォーマルとインフォーマルの協働作業が可能なツールの検証を行うことにより、より具体的な方向づけを行う必要があると考えております。

研究を進めるにあたり、厚生労働省老健局計画課をはじめとして、行政機関や地域包括支援センター、社会福祉協議会、老人クラブ連合会、各地域住民の皆さまのご協力、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

本報告書が、多くの地域住民の認知症予防ならびに介護予防に役立てて頂けることを願っております。

認知症介護研究・研修仙台センター
センター長 加藤伸司

地域に根ざした認知症および介護予防教育の普及と予防的介入効果の検証に関する研究
研究組織

<主任研究者>

加藤 伸司 (認知症介護研究・研修仙台センター)

<分担研究者>

阿部 哲也 (認知症介護研究・研修仙台センター)

矢吹 知之 (認知症介護研究・研修仙台センター)

吉川 悠貴 (認知症介護研究・研修仙台センター)

<研究協力機関>

福嶋 美奈子 (社会福祉法人平生町社会福祉協議会)

二宮 恭子 (社会福祉法人八幡浜市社会福祉協議会)

須藤 健 (鮫川村 住民福祉課)

小野田直子 (幌加内町保健福祉課)

大島老人クラブ連合会

<研究協力者>

山口県熊毛郡平生町の皆様

愛媛県八幡浜市の皆様

福島県東白川郡鮫川村の皆様

北海道雨竜郡幌加内町の皆様

宮城県気仙沼市大島地区の皆様

目 次

地域に根ざした認知症および介護予防教育の普及と予防的介入効果の検証に関する研究

認知症介護研究・研修仙台センター 加藤伸司 矢吹知之

阿部哲也 吉川悠貴

はじめに	1
研究組織	2
研究全体の目的と概要	5
1. 研究事業全体の目的	5
2. 事業の方法と経過	6
3. 成果と今後の課題	7
4. 研究成果	9
成果物①（地域特性診断指標試案16）	10
成果物②（活動支援ツール1～4）	11
成果物③-1（活用の流れ）	15
成果物③-2（ワークショップ進行表、進行方法）	16
成果物④（予防教育ポスター）	19
研究1 地域特性把握に関する基礎調査	21
1. 目的	21
2. 方法	22
3. 結果	23
●結果の詳細	25
1. 対象者の属性	25
2. 健康状態・志向に関する項目	27
3. 対人交流に関する項目	43
4. 地域交流に関する項目	53
5. 運動・趣味の頻度	65
6. 地域や家庭での役割	69
7. 認知症の予防因子に関する項目	77

研究2	認知症予防・介護予防活動の参加型教育プログラムの展開方法	89
1.	目的	89
2.	方法	90
3.	結果	90
研究3	地域在住高齢者の潜在的活動ニーズの抽出と分析	103
1.	目的	103
2.	方法	104
3.	結果と考察	105
研究4	加齢と健康に関する縦断的第3次介入研究	118
1.	目的	118
2.	方法	119
3.	結果と考察	121
4.	まとめ	126
資料		133
	調査票1（地域特性把握に関する基礎研究）	136
	調査票2（加齢と健康に関する縦断的第3次介入研究：聴き取り用）	140